

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	適切な図書館の設置により、中等学校の学習環境が改善し、生徒、教員の学ぶ意欲が高まり、教育の質が向上する
(2) 事業内容	<p>(ア)図書館建設、図書設置</p> <p>ポントーン中等学校、ノーンサアット中等学校において、床面積 81 m²、椅子 53 席、ベンチ 30 席、本棚 10 台規模の図書館を建設する。</p> <p>ラオス経験が深い建築家を日本から 2 回派遣し、設計・工事調整をおこない、建設会社を決定し、9 月に着工した。詳細な流れは以下の通り。</p> <p><第 1 回派遣 4 月 30～5 月 7 日></p> <p>現場 2 箇所において、それぞれ応札希望業者 2 社を集め、設計内容を説明し、見積書作成のための質疑をおこなった。さらに設計データを渡し、見積を正式に依頼した。</p> <p>また、工事予定地を学校担当者と再度確認したところ、ポントーン中等学校においては、教員室近くに建設用地の場所を変える案が出てきた。その対応のため、計画案を正方形なプランを、面積を変えず、長方形に若干の寸法を変更した。</p> <p>加えて、事務所担当スタッフと今後の事業進行について確認した。さらに、新しくラオス人専門家に、現場監理のための定期的な巡回を依頼する。</p> <p>6 月～7 月にかけて、各社から見積提出を受けるが、予算額を大幅に超えたり、見積内容に不明点があることから、東京にて業者と数回のやりとりをし、見積金額を確定させた。このなかで、契約可能業者を 2 社に絞り込み、その過程で、建物高さの修正など、若干の工事金額減額のための設計修正をおこなった。</p> <p><第 2 回派遣 8 月 5 日～13 日></p> <p>2 社に対し現場にて、こちら側の契約希望金額と工事内容を提示、確認をおこなうとともに、最終工事契約金額の詰めをおこなった。結果、ポントーン中等学校を View Tech 社、ノーンサアット中等学校を KKT 社に担当させることに決定した。最終契約金額は、View Tech 社が 35,000 ドル、KKT 社が 36,800 ドルとなり、8 月中に東京に、正式契約文書を送付するように指示した。工期はポントーン中等学校が 3 ヶ月近く、ノーンサアット中等学校が 3 ヶ月を越える程度かかる計画である。</p> <p>9 月 14 日、東京にて 2 社と工事契約、早速、着工する。</p> <p>その後、当会担当スタッフが 2 週間程度ごとに現場を視察するとともに、ラオス人専門家による、現場確認をおこなった。その都度、結果については、東京事務所に報告があり、日本人専門家による指示が返されている。</p>

<p>(3) 達成された効果</p>	<p>申請書に記載した以下の「期待される効果」は、図書館ができることで達成することから、建設中の現時点ではまだ達成できていない。</p> <p>成果は、図書館の活動記録データ、インタビュー、アンケートにより確認する</p> <p>1) <u>中等学校2校で十分な設備が整った図書館が開設され、効果的に運用されるようになる</u></p> <p>1-1) 図書利用、貸出などの図書館サービスが週5日間、定期的に提供される</p> <p>1-2) 研修を受けた教員が図書館運営をできるようになる</p> <p>1-3) 生徒の図書ボランティアが、図書館運営をサポートできるようになる</p> <p>1-4) <3年後>本の補充が自主的に学校によりおこなわれるようになる</p> <p>2) <u>図書活用研修の成果として、教員が図書を使い、多様な教え方が出来るようになる。その結果、授業の質が向上し、生徒の授業への関心が増す</u></p> <p>2-1) 教科書以外の図書を用いる授業が、週1回以上実施されるようになる</p> <p>2-2) 教員の工夫された授業により、授業の理解度が増す生徒が90%以上になる</p> <p>2-3) <3年後>図書館活動のモデル校として、周辺校の教員への研修を実施できるようになる</p> <p>3) <u>図書館の様々な図書に接することにより、生徒が多様な知識を身につけ、学ぶ意欲を増す</u></p> <p>3-1) 1か月で、全生徒の80%以上が図書館を利用ようになる</p> <p>3-2) 1か月で、全生徒の70%以上が図書を借りるようになる</p> <p>3-3) 全生徒の75%が調べ学習など図書の活用をおこなうようになる</p> <p>3-4) <3年後>生徒の具体的な進路希望が多様化する</p> <p>3-5) <3年後>大会主催の図書・作文コンクールに生徒が応募するようになる</p>
<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>図書館建設工事はスケジュール内で進んでいる。</p> <p>10月18日～22日に日本人建築専門家を現地に派遣し、工事の状況をチェックする予定。その際、ラオス人専門家、大会ラオススタッフと、チェックポイントを再度確認する。</p>